



とうおん

議会だより

2008年

第8号

平成20年2月1日発行



水天宮の干支送り

- ② ごあいさつ
- ③ 決算審査報告
- ④⑤ 12月補正予算・質疑
- ⑥～⑫ 一般質問
- ⑬ リレー議員紹介

- ⑭⑮ 委員会報告
- ⑯～⑰ 討論
- ⑱ 特集人シリーズ・市民の声
- ⑳ 全国へ発信 株式会社キシモト



見積無料

イチミヤ引越センターは
お客様のニーズに
お応えします!!

安心のトランクルーム



大切な書類
家財など
一時預かりも
O-K!

イチミヤ引越センター

〒791-0212 東温市田窪1935-1
☎ 012-012-1380

TEL 089-964-1583
FAX 089-964-7176

年頭のごあいさつ
明日の東温市のために
今やらなければいけないこと



議長 佐伯 正夫



副議長 大西 勉



明けましておめでとうございます。
平成20年の輝かしい新春を祝い、謹んでお慶び申し上げます。昨年中は、市議会活動に深いご理解と力強いご支援をいただき誠にありがとうございました。ございました。
さて、国家財政が逼迫する中で、新たな行政需要に応え、市民の皆様の福祉向上を図るには、自主・自立・自考の行政システムを確立し、今まで以上に自主財源を確保することが必要でございます。そのためには、限られた地域資源を効果的に活用し、地域産業を活性化していかねばなりません。
その方策の1つは、地域と住民、観光関係者の積極的な取り組みにより観光交流を活発化させることです。『見奈良天然

温泉利楽』や『坊つちやん劇場』、上林森林公園の『風穴』と『ソーマン流し』、スノーボード施設『アクロス重信』、落差96メートルの『白猪の滝』、市営温泉施設『ふるさと交流館さくら湯』など、東温市の魅力あふれる観光資源を結ぶ観光ルートのアピールに力を入れるとともに、松山市、砥部町、東温市の広域観光連携事業を一層推進することです。
「人が集まり、物が集まり、お金が動く」、経済原理から言っても人の集まらないところに元気なまちづくりはありません。
2番目の方策は、恵まれた立地条件を活かした企業誘致です。雇用の確保と税収増のため、議会としてもその受け皿作りに全力を傾注します。具体的な取り組みとしては、昨年末「企業誘致・地域活性化等調査特別委員会」を設置し、若者が定住するまちづくりのための提言作成に早速着手いたしました。
議長として3年を経過し、本年は総仕上げの年です。この3年間、民間発想に基づき、現状打破で行政のスリム化と財政の建て直しを推し進めてきた結果、事務局職員の1人削減や議員の費用弁償ほかの見直しで数千万円の削減を実現いたしました。また、昨年末、次回選挙から議員定数を現在の24人から6人減の18人とする大幅削減を議員全員協議会で決定し、3月議会に上程いたします。これにより議員歳費他においては3千万円以上の削減が見込めるなど、議員自らが、身を削り議会改革において一定の方向を示すことができました。
年頭に当たり、市民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、東温市の未来のために必要な改革を提言、着実に実行し、元気で明るいまちづくりに邁進してまいります。決意を新たにいたしてまいります。市民の皆様におかれましては、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

迎春

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。本年もよろしくお祈り申し上げます。

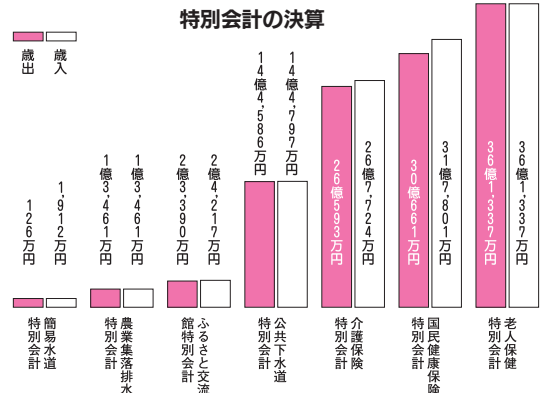
☆公職選挙法で年賀状は禁止されており、議会だより上にて新年のごあいさつとさせていただきます。



- 松下 通 永井 雅敏
- 白戸 寧 山内 孝二
- 佐伯 強 藤田 恒心
- 玉乃井 進 三棟 義博
- 東 一夫 大西 勉
- 森貞 章吾 佐藤 壽兼
- 片山 益男 安井 浩二
- 野中 明 竹村 俊一
- 桂浦 善吾 近藤千枝美
- 大西 佳子 丸山 稔
- 佐伯 正夫 渡部 伸二
- 伊藤 隆志

一般・特別会計決算状況 (単位:千円、%)

年度	項目	歳入			歳出		歳入歳出差引額
		収入済額	不納欠損額	収入未済額	支出済額	執行率	
18	一般会計	13,403,905	9,006	216,323	12,600,768	95.2	803,137
	特別会計	11,312,503	9,839	190,135	11,041,557	94.3	270,946
	一般・特別会計合計	24,716,408	18,845	406,458	23,642,325	94.8	1,074,083
17	一般会計	12,851,687	26,575	224,089	11,668,955	93.5	1,182,732
	特別会計	10,539,865	16,120	187,377	10,317,385	93.3	222,480
	一般・特別会計合計	23,391,552	42,695	411,466	21,986,340	93.4	1,405,212



決算審査報告

質疑

11月7日開催の決算審査の主な質疑と討論は次のとおり。

一般会計
問 実質公債比率は。 **答** 比率が18%を超えるのと許可制になるが、東温市は13.4%である。新市建設計画どおりに事業を行うと、平成22年が事業ピークで、24年頃にその公債比率は18%を若干超えるので、事業の先送り、見直しを検討する必要がある。
問 愛媛地方税滞納整理機構の効果は。 **答** 東温市の滞納案件40件、4,721万2千円を移管。平成19年3月末で3,700万円の収納状況である。
問 個人情報保護法の下での、民生児童委員の活動は。 **答** 従来と比べて本人の同意が必要など、難しくなってきたが、災害時対策等のため担当課と協議し対応したい。
問 集団健診の効果は。 **答** 健康診断により「がん」が発見されたケースは、

東温消防署の職員数が少ないのではないか。
答 現在出勤要員は35人が交代制で勤務しているが、休日の割り振りにより勤務しているのは1日約10人である。新聞で報道されたように、2人乗車による救急出動が重なって発生する場合もあり、現在増員を願っているところである。
注 12月定例議会にて2人増員が決定。
問 学校給食センターの食品検査状況は。 **答** みかん、キャベツ、白菜、いわしで一般細菌検査を実施した。牛肉については、国内産に限定し、他の食材についても国内産、県内産を原則としている。
問 国民健康保険特別会計 経済的弱者の救済措置は。 **答** 国保税では所得により、7割、5割、2割の軽減が認められている。離職により所得がなくなった場合等は、減免措置という対応もしている。
問 中予広域水道事業団の状況はどうか。 **答** 今年度中(来年2月開催予定の会議で決定)に解散予定であり、解散に伴う清算返還金は5,200万円である。
水道事業会計
問 今後の見通しは。 **答** 市民の節水努力により、使用水量が10万m³減となり、料金収入が減少したが、それにより料金の値上げでは矛盾した話である。しかし、設備投資も必要であり、4年に1回程度の料金値上げはやむを得ないと考えている。
また、横河原地区は、21年6月頃水道水供給の予定である。
国民健康保険特別会計決算
佐伯 強議員 国保の国庫支出金を減額する国の施策は認められない。
安井浩二議員 改善された保険料の徴収率。少子化対策、保険財政安定化事業の導入、保険事業の積極的な取り組みなど適正な事業運営がなされたと認める。
介護保険特別会計決算
佐伯 強議員 増え続ける未納保険料。払いたくても払えない人に対してどう対応するのか。
安井浩二議員 介護予防重視型の事業を展開し、地道な努力を積み重ねており、認定すべきである。

討論

一般会計決算
佐藤壽兼議員 ①続けられてきた同和対策、同和教育への支出②未収の

12月4日から18日まで12月定例会を開催しました。総額9億3,113万円の19年度補正予算を始め、乳幼児医療費助成条例の改正など議案15件、議員提案の意見書など議案9件を審議しました。また、9月定例会で継続審査となっていました18年度各会計の決算を認定しました。

一般質問では、13人の議員から、質問がなされました。

議員定数等調査特別委員会（玉乃井進委員長）で検討中の議員定数削減については、12月17日議員全員協議会で特別委員長から過去5回の特別委員会報告のあと、協議した結果、現在の24人から6人削減して18人とする条例を3月定例会に提出することが決定しました。

12月定例会

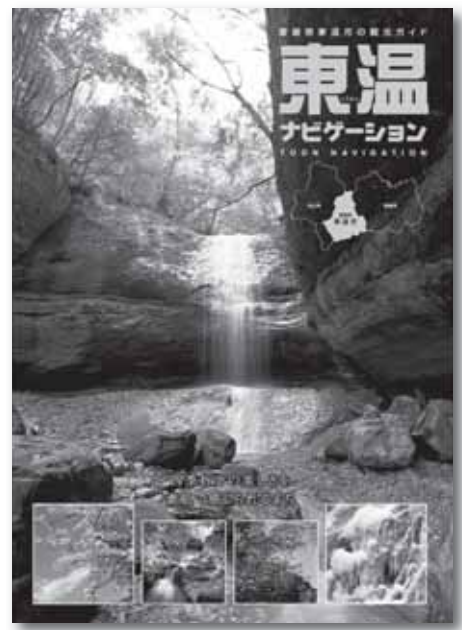


11月19日 林業活性化記念植樹

9億1,917万円を追加

主な事業紹介

- 交通安全施設整備事業
カーブミラー等修繕料
100万円
- コミュニティ施設整備事業補助金
36万円
- 福祉関連事業国庫負担金返還金
1,895万円
- 障害者地域生活支援事業費
830万円
- 障害者自立支援給付費
100万円
- 後期高齢者医療事務費
97万円
- 児童手当支給業務費
889万円
- 児童館建設事業費
280万円
- 母子各種健康診査事業費
155万円
- 乳幼児医療費
81万円
- 水田農業構造改革対策事業費
200万円
- 商工総務費
県地域産業活性化協議会負担金
7万円
- 観光宣伝事業費
東温市観光ガイド増刷
52万円
- 市営下沖団地建替工事費
4億9,162万円
- 常備消防費
42万円
- 非常備消防費
22万円
- 防災費
413万円
- 教育委員会事務局費
207万円
- 小学校管理費
拜志小学校特別支援学級
36万円
- 小学校施設改修事業
147万円
- 四国中学新人体育大会出場旅費補助金
36万円
- 重信中学校
男子ソフトボール部
運営費
912万円
- 下水道整備費（内示変更に伴う管渠工事費）
1,349万円



観光ガイドブック

質疑

「一般会計補正予算（第3号）」について

- 問** 人事院勧告による給与改定について
- 答** 一般職は引き上げ、特別職は見送り。（厳しい経済情勢、財政状況等）
- 問** 臨時職員の給与は、月給制から日給制へ変更
- 答** 障害者等情報支援緊急基盤整備事業について
- 問** 視覚障害者用の文書の読上げ装置・拡大読書器装置の設置
- 問** 移動支援事業給付費とは。
- 答** 視覚障害者、身体障害者、知的障害、精神障害者のガイドヘルプするデイサービスの内容で市内30人程度利用
- 問** 扶助費について
- 答** 移動支援事業の給付、日中一時支援の事業給付不足相当分
- 問** 老人医療費の役務費補正額9,7万円の通信費の内容
- 答** 後期高齢者医療制度準備事務費（通信運搬費）配達記録郵便との差額
- 問** 妊婦一般健診委託料の内容
- 答** 妊婦健診の公費負担2回から5回へ（370件程度予定）
- 問** 清掃総務費の賃金について
- 答** 清掃の嘱託員の給料月額から日給へ（退職後）
- 問** 集落営農組織確保推進事業について
- 答** PAC下林（7月19日設立）他に2、3カ所研究中
- 問** 観光ガイドブックのPR方法は。
- 答** 視察交流や観光キャラバ（隊等）配布している。
- 問** 下沖団地のオール電化について
- 答** 基本的に安心、安全な住宅の提供で火を不使用者、ランニングコストが非常に落ちる（IH）電磁波に十分対応できる。
- 問** 老朽化の進む天神・保免・寺山市宮住宅の今後と対応は。

12月一般会計補正予算

- 問** 建築基準法改正以前の建物についてはストック計画もあり耐震調査等今後検討対応する。
- 問** 緊急地震速報サービスの回線使用料について
- 答** 本庁、支所、消防署の3カ所分今年度予算化
- 問** 県地上系防炎通信システム関係について
- 答** 県において設備老朽化のため新システムを構築中（リアルタイムに災害映像を各市町に伝達）
- 問** 「国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」について
- 問** 臨時職員の賃金減額理由は。
- 答** 業務上保険年金課全体を1人増員したため
- 問** 運営協議会費の増額について
- 答** 医療制度改革によって開催を2回から4回に増やした。
- 問** 「公共下水道特別会計補正予算（第1号）」について
- 問** 整備について全体の進捗状況、加入率は。
- 答** 川内処理区69・57%
重信処理区33・13%
全体では43・51%の整備率、接続率は18年度末川内処理区82・69%
重信処理区87・26%
全体85・45%である。
- 問** 「職員定数条例の一部改正」について
- 問** 職員定数、条例定数について
- 答** 定数総数375人で実人員349人。（26人減）
市長部局230人。（2人減）
- 問** 「職員給与に関する条例の一部改正」について
- 問** 県職員と民間給与の比較は。
- 答** 130民間事業所（50人以上の事業所）抽出調査
- 問** 人事院勧告に伴う増について
- 答** 一般会計の増減
給与改定379・5万円
昇給増加280・2万円
- 問** 「住宅管理条例の一部改正」について
- 問** 暴力団の認定は。
- 答** 県警に問い合わせ確認対応（51条の2）
- 問** 施行期日20年1月1日
- 問** 個人の尊厳の尊重は。
- 答** 国の機関で十分議論
- 問** 憲法違反か否か。
- 答** 自治体として市民の安全安心の確保措置
- 問** 「中予広域水道企業団の解散に伴う財産処分」について
- 問** 処分の内容は。
- 答** 事務所使用備品関係の残分と比率最終清算協議

◆◆◆◆政治家の寄附禁止◆◆◆◆
 ◇贈らない◇求めない◇受け取らない◇
 ☆政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると、処罰されます。
 ☆有権者が求めることも禁止されています。

13議員 市政を問う!!

一般質問

第5回定例会



大西 佳子 議員

住みよい環境づくり条例は!

問 市民に住みよい環境で騒音・悪臭のない、日照・眺望等の確保された環境条例の制定を検討されているのか。

山内保健福祉部長
 市と市民や地域との連携を強化しながら、環境基本計画その他の計画を實踐して行くことが重要

であるので、実践する上で条例の制定が必要となれば、検討したい。

問 学校教育において、大人と子供たちの愛のふれあい教育は、どのような教育がなされているのか。

寺澤教育長
 地区公民館活動として、地区の運動会や三世交代交流スポーツ大会、盆踊り、美化活動等での地区住民との交流、どんど焼き、百八灯など伝統・文化の継承を通して、世代間の連携などを推進する教育をしている。

については、医療機関の体制整備や協力がなければ消防だけでは対応が困難であり、医療機関と協議検討したい。

問 市役所等の車椅子マークがついた障害者用の駐車場を妊婦さんにも利用できるように妊婦さんにも「こり駐車場」マークを掲示してはどうか。

高須賀市長
 本庁、支所や中央公民館等の駐車場の身体障害者用のスペースに「マタニティマーク」を追加表示したい。

問 最新の医療情報に基づく救急車の出動についての対応は。



白戸 寧 議員

市の花 桜について

このことであった。東温市の公共施設や学校などには数多くの桜の樹があるが、中には樹木に天狗巣が付き相当傷んでいるものが見受けられる。東温市においては、どのような思いで、どのような手入れや管理を行っているか。

加藤総務部長
 桜の花は、市のシンボルである。市内には、学校を含む公共施設に約3,500本の桜があり、手入れ管理の大部分は、森林組合や造園業者及びシルバー人材センターに他の樹木と共に管理委託をしている。管理は、年間に1回から数回の施肥や消毒及び灌水である。また、枯渇部分や道路にはみ出した部分は、補植や剪定を行っている。今後

問 東温市の花「桜」についてであるが、十数年前、旧川内町の姉妹町であった島根県木次町（現雲南市）を訪問した際に、見事な桜並木の樹木一本いっぽんに番号札が付けられていた。理由を聞くと、番号は、桜の樹のカルテの番号で、過去にどのような手入れや管理を行ったかが即座にわかるようになって



天狗巣が付いた桜

も市の花「桜」としてイメージアップを図ると共に公共施設内はもとより景観にも目を向けていきたい。

野口学校教育課長
 「桜の花」は入学式の季節を飾り、子供たちの成長を祝うものとして、幼稚園や小・中学校にとっても重要な意味がある。現在は、維持管理を委託事業で行っている。桜にも寿命はあるが、「天狗巣」については樹木医などと相談して適切に対応していく。



佐藤 壽兼 議員

小学校入学まで乳幼児医療費無料化が実現!

子どもの医療費無料を市の戦略に!

問 合併直後から、就学前まで完全無料にするよう要求してきた。実現することになり評価したい①理由はなにか②対象年齢・学年を拡大してはどうか③その場合の市の負担額は④団塊世代の移住ではなく、近隣自治体の若い世代に来てもらうほうがよいのでは。市の少子化対策・人口戦略として位置付けよ。

山内保健福祉部長
 県が自己負担割合の軽減とともに乳幼児医療費助成事業の対象者の拡大改正をした。それに合わせて少子化対策、子育て支援を図るため厳しい財政状況を踏まえ、就学前までの全児童を対象に医療費の無料化をする。市の負担は約790万円増。8歳ならびに義務教育終了まで無料化した場合の市の負担額は推計できない。対象年齢の拡大は考えていない。

問 ①窃盗が多発。状況は②委託費の3年間の総額は③売却額は④売れる資源ごみの現在の単価・動向は⑤委託業務ができた時は値が付かず業者が収集しない状況だった。今は違う。政策転換をすべきだ。収集委託の廃止を求める。無駄遣いだ。

紙ごみなどの収集委託の廃止を!

問 学校給食の牛肉などの食材にも偽装事件が発生している①対策は②違反の場合の対応は。

戒能給食センター所長
 全納入業者に品質管理の徹底を図るよう要請。検収表と畜証明書の写しには必ず搬入業者の確認印を求めるとともに、口頭または文書にて安全確保の指導を徹底。違反の場合は取引を停止する。

資源ごみの種類	単価
段ボール	6.70円
新聞広告紙	9.20円
雑誌その他	4.00円
紙パック	5.00円

集委託費は過去3年で5,600万円、売却額は600万円。資源ごみの最新の売却単価(10月1日現在)は1kg当たりで左記のようになっている。現在のところは、よりよい制度運営を心がける。



自転車に着目したまちづくりで日本一元気な東温市を!

丸山 稔 議員 自転車は健康・環境両面において大変優れており、高齢者の生活習慣病対策、ストレス解消など様々な効果も期待でき、取り組みには非常に魅力を感じる。現在、市で取り組んでいるウォーキング、健康体操、運動教室等と併せて今後実施したい。更に、重信川沿いのサイクリングロードを活用した競技会等も検討したい。マウンテンバイクのコースについては、愛好者の要望を実感している所であり、今後市内の山林等にて実現が可能か否か調査・研究を進めたい。



問 高速光通信網を最大限活用し、かつ、経費

削減を図るため、IP電話の導入を検討してはどうか。

大石企画財政課長

東温市においては、平成16・17年度に地域イントラネット基盤施設整備事業を実施し、市内82カ所の公共施設を光ファイバーで接続する公共ネットワークを整備している。IP電話への切替については費用対効果等を含めて十分な検討が必要と考える。

問 視覚障害者のためのSPコード並びに文字読取装置の普及と機器購入に当たっての自己負担分(1割)への市独自助成制度の整備を

山内保健福祉部長 現在、社会福祉課窓口を設置、一部の視覚障害者への発送文書に利用。今後、他市町の事例などを参考に普及を検討したい。市独自の助成等については、国・県等の動向を見守りながら持続可能な制度の運営に向けた検討をしたい。

問 救援対策として、高齢者、要援護者マップの作成を。
加藤総務部長 個人情報保護法の取扱いが障害となっており、その中に特例条項もある。区長を中心に各地区の人々の協力を得、策定を進めていきたい。



一日まって携帯電話

議員 半日くらいは、電話での問い合わせは控えてもらえるとありがたいです。輪島市の人々のお願いであるが、東温市での通信手段の確保は?

露口消防長

アマチュア無線局の協力や消防無線により通信手段の確保を図っているが、消防団の無線機は重信・川内方面で周波数や能力が違っており、運用に支障が出ている。今後、無線機の周波数の統一・能力アップを検討している。

問 「一番困ったのは、電話が不通になったことです。被害状況を連絡し合い、対策をとろうとしても繋がらないのです。町では対策本部を設置し、職員が被害把握に出かけても、携帯電話が不通のため、本部に帰らなければ被害状況の報告ができません……。」



総合防災訓練

災害が発生した地域の方々の安否を心配されることは、とてもありがたいのですが、地元の緊急体制を優先させるため、



高齢者(75歳以上)すべてから保険料(最高50万)と医療費を徴収する世界に例のない高齢者いじめの制度

すべきである。高齢者はこれ以上の負担に耐えられなくなっている。

高須賀市長

①法律用語②試算では、均等割と所得割で、1人当り6万6900円③国保と同じで資格証明、短期者証になる④配慮された内容⑤1割、現役並は3割負担⑥現役世代と高齢者世代の負担の公平⑦世界に類をみない超高齢社会に対応すべく独自の制度。

問 読書で心に栄養をと図書館に標語が出されている。図書館に重要な役割を果す図書館司書の設置をすべきでは。

山内教育委員会事務局長

9月までは配置していたが退職。今後配置する方向で努力したい。

問 愛媛病院脇道路の通学、車いす用歩道を早急に(消防署方面へ行く道路より正門までの間)宮崎建設課長

1時間当り343台とかなり多くの利用がある。



愛媛病院脇道路を通学する小学生



自然と共生の水づくり

議員 の一番に掲げて、取り組んでいられる。山林の手入れが行き届かず本来の機能を十分に発揮していないのが現実である。また山林の整備にあたっては、森林施業者の高齢化や人手不足、所有者の意識、財政的な問題等、様々な困難がある。国県の補助を活用しながら、間伐等の事業を進め、保水力のある森林を整備することも森林所有者の啓発を図っていく。

市長の「地産智商」の進展について 市長は、マニフェストに掲げているが、就任して3年が経過して、何をやり、どう結果が出たのか。

商工会が中心になり、グループを作り現在取り組みを進めているが、既に一部の商品はさくら市場でも販売している。

問 当市の雄大な山を自然の山に近づける。そして養分を充分含んだ地下水をつくり、そして、その水を流し、豊かな人材の育つまちづくりを進めて行く事が、行政の責務ではないか。

菅野産業建設部長 「地球と共生する快適環境のまち」を政策目標



市民のブランド創りの努力を無駄にするな



議員 近年、野生鳥獣による農作物等の被害が全国的に広がりを見せるなど、大きな社会問題となっているが、本市における被害状況、対策はどうか。特に、一般的にあまり知られていない、シカの被害についての、認識と対策はどうするか。

坂本農林振興課長

野生鳥獣被害はここ数年、減少または横ばい傾向にあるが、自家用農作物を中心に、被害の通報は依然として多く、原因となるサル・イノシシ・シカなどの個体数等は増加し、被害の範囲も拡大している。対策としては猟友会に対し、有害鳥獣捕獲許可を行い、猟友会への捕獲費及び弾薬費の補助を行うとともに、サ



野生鹿による皮はぎ被害

**野生鳥獣被害の実態と対策
新薬「t-PA」の効果的使用に
自治体として取り組んでは？**

ル・イノシシの捕獲実績に依りて、捕獲奨励金を交付している。シカの被害については、ここ数年、奥松瀬川周辺の山林において、被害の発生が見られ、数頭の捕獲実績が報告されており、今後、森林被害の拡大が予想されることから、シカの捕獲に対する奨励金についても、交付対象とする方向で検討したい。

脳梗塞の新薬「t-PA」の効果的使用について、自治体として取り組む考えはあるか。

高須賀市長

t-PAによる治療を有効なものにするためには、救急体制の整備と合わせて受け入れ側の医療機関の医療体制の整備が必要であり、今後、愛媛大学医学部附属病院や管内の医療機関の意向をふまえ、行政部門を交えた検討が必要である。

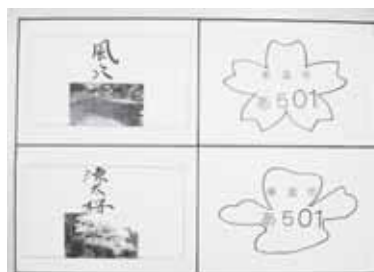


議員 竹村 俊一
を統一してはどうか？
また、東温市独自のラベル「風穴」「源太楼」等観光地名を付けたラベルで地酒を売り出してはどうか？

加藤総務部長

松山市の雲形のナンバープレートは、地域再生法に基づき「坂の上の雲フィールドミュージアム構想」の一環として誕生した。東温市独自のものの実施は、市民の合意や所管警察との協議も必要であり、イベント性やPR効果等十分検討を重ねる必要がある。
また、市内の地酒のラベルに観光地名をつけて売り出す提案は、東温市の情報発信として大変有効な方法であり、全国の例も参考に検討する。

問 広域観光連携推進協議会（松山市・砥部町・東温市）を組織し、「道後トライアングルの旅」と称して観光を推進している。松山市は雲形のナンバープレートが観光に「役を買っているが、東温市も独自のイラストによるナンバープレート



ナンバープレート及びラベルのイメージ

やはり自主防災組織率向上が大切

問 地震が発生した輪島市を視察して、より一層「自主防災組織」の重要性を感じた。防災訓練実施への取組、各地域イントラネットの利用訓練はどうか？

高須賀市長

自主防災組織結成に向けた出前講座の開催は、12月5日現在で、28団体、述べ1,119人が受講し、年度末までの結成率は72・1%の見込みとなった。
訓練実施の重要性は十分認識しており、来る「東温市総合防災訓練」で横河原区・上村区自主防災会及び滑川自治会が参加し訓練実施、また、地域イントラネット利用訓練も実施する。

「条件付き一般競争入札の導入」に伴い格付け基準に「市民税の特別徴収義務者」を加える予定は無いのか？

佐伯副市長

格付け加算要素とする考えは無い。



議員 野中 明
菅野産業建設部長
三位一体の改革の影響により地方の財政状況が厳しいことから、愛媛県においても建設事業の見直しを行うなど、公共事業が大幅に削減され事業の進捗が大幅に遅れている。

**宝泉川
改修問題は？**



改修を待つ宝泉川堤防

問 県の補助金について、マスコミで取り上げられている。東温市においても116団体に補助金を出しているが、19年度は3億7,663万7千円であり、それぞれの課において、使用目的のチェックはできているか。

高須賀市長

要望内容など詳細なチェックの上協議を重ね、適切なものに交付していく。
各団体とも使用目的に沿った支出がなされているとの監査結果が出ている。

問 昨年今年と続けて知事に陳情しているが、県も財政難を理由に、前向きな回答が得られないのが現状。周辺住民が安全で安心した生活が営めるよう、未整備区間の一刻も早い改修完了に向けて、県に對し要望してもらいたい。



議員 近藤千枝美
けられるためには、国、県、市町村、医師会など関係機関が連携を取る必要がある。現時点では、実施は困難。今後、県に要望していく。

**安心して出産できる
環境整備を！**



ママに抱かれて安心

問 特殊勤務手当支給対象の職員の割合は？年間の支給総額は？行財政改革の一環として検討や見直しは考えているのか。

高須賀市長

平成18年度の支給実績は、消防職員、税務、国土調査、水道職員など計82人(23・2%)、支給総額829万8千円。市民の納得と支持が得られる給与体制となるよう改

問 発達障害の早期発見、早期療育のために5歳児健診を導入はどうか。

菅野健康推進課長

3歳までは、小集団指導・育児発達相談広場、5歳までは、なかよし教室や幼稚園・保育園巡回相談などを実施している。現行制度を継続実施する。

高須賀市長

問 里帰り出産は、妊婦が安心して出産に臨める1つの方法である。県外での受診も、妊婦無料健診の対象にしてはどうか。

全国どこでも健診が受



教職員の労働者としての基本権の確立を

議員 渡部 伸二
また、業務量調整については、職務の特殊性があるが、授業など子どもに直接かかわるもの以外の業務量を可能な限り削減するとともに、教職員の指導力等の向上への施策が肝要と考える。

問 数10年前から教育労働者は超過勤務をしていたが、今ほど病気休職や精神疾患は多くなかったと元教員から聞いている。

また、教育労働の危機ともいえる、病気をかかえてしまう教職員の多さは、新自由主義的教育改革による「競争」と「評価」を通しての教職員に対する管理強化と、それに対抗する労働闘争の消失という現実があるとの指摘があるがいかがか。

寺澤教育長

20〜30年前当時は、教職員の超過勤務は当たり前だったが、今と大きく違うのは、保護者の協力や理解があったので、教職員の精神的負担も軽かったことだ。無理難題を吹っかける保護者の対応

が最も大きい悩みであるとともに、急激で多様な切り口の教育改革に対する落ち着いた対応の時間がないのが現実である。

問 今必要なのは、教育労働者から奪われて久しい労働者としての基本的諸権利を保障することではないか。

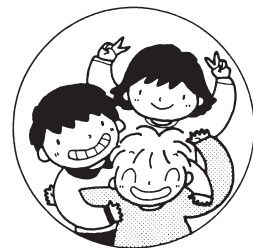
教員の職場環境が破壊されれば、おのずと学校教育は崩壊すると考えるがどうか。

寺澤教育長

そういうことのないように努力する必要がある。

※その他の質問事項

- ・財政運営と自治
- ・政治倫理条例制定
- ・審議会の活性化
- ・予算編成の透明化
- ・市民への予算説明
- ・退職者の再雇用問題



どうなっているの、地産智商に活性化・東温ブランド・エトセトラ

議員 大西 勉
対する行政としての関わりと地域活性化のための、井内から上林に至る林道の整備は。

高須賀市長

観光ルートの開発は交流人口を増やし、特産品の販売や雇用の創出など地域振興に大きく寄与するものと考えている。

現在広域観光連携推進協議会で誘客に取り組んでいる。裸麦グランプリの優勝者に対しては「地域ブランド販路開拓支援事業」において検討している。

林道整備は予算の範囲内で舗装工事を実施し利用向上を図る。

癒しの観光ルートの策定と特産品の開発を問う

問 過日、佐伯正夫議長がラジオ番組に出演、無から有を生む観光論を熱く語っていたが、中山間活性化のための観光ルートの策定及び東温ブランドの開発とその成果、また一昨年の食材コンテストの優勝者に



東温市の名勝、白猪の滝

公園の必要性を問う

問 川内地区の公園建設計画と、建設遅滞の理由。

菅野産業建設部長
計画の8箇所のうち2箇所は整備されているが、今後は地域からの要望に基づき、全体のバランスを考慮しつつ対応する。また、遅れた理由は用地が借地契約によるもので地権者の理解が得がたい、ということだ。

保険医療機関から見た国保制度のあり方を問う

問 民間保険医療機関では、医療保険の一部負担金の未払いと、医療制度の改正も相まって経営に支障を来している所もある。そのことが医療に対する熱意と質の低下を招き、市民の健康保持に影響を及ぼすことを危惧するが。

高須賀保険年金課長

患者の一部負担金未納問題は社会問題となっており、憂慮すべきことであるが、保険者が補填するということは適切ではない。しかし看過できない問題として国も検討を始めたので、今後の推移を見守りたい。



和と信頼で新市づくりの願いは今?

議員 東 一夫

平成7年川内町収入役を任期満了で退職、一住民として思う間もなく地区公民館長を受け、そのうち平成の大合併の波高まり、「過疎高齢化地域の声を」の声に推されて町議会に席を得て、本町の住民の声を町政に届ける立場に立ち、はがゆい思いをするうち一年半で新市の発足、燃焼不足で引き続き、和と信頼の新市づくりをめざして、ご支援を頂き新市議会でも市民の声を市政に届けるとお約束して、早3年、しかし、ときは国の大借金で地方自治体まで財政窮迫の時、新市建設計画も繰延の状況の中で、過去の何にでも政治に頼る時代から思考

を変えて、住民は今行政に、公共福祉に何ができるかの時代になって来ました。しかし政治の要諦は日の当たらない所に光を当て、落ちこんだ所を平に均らすのが肝要、今農林業は有史以来の存亡の危機、特に集落消滅の危機に直面している山間地域の声を市政に届けたい。ところで今、当市は議員定数削減が議題となり一挙6人の減員の方向にありますが民主主義の基本はより多くの民意を

聞くことが大事であり東温市の地形地勢を考えるならば議員は4人まで、そして財政を考えるなら報酬は決して安くない。これを10%カットすれば2.4人の定数減の効果があり、報酬のカットは今すぐでも新年度からでも可能である。よく考えてもらいたいものと思う所です。

市民各位の率直な御批判を賜りたいと思います。



議員 玉乃井 進

地域との連携

東温市が発足して以来、早くも3年が経過した。川内町と重信町との合併の際の議員定数問題は、白熱し、最終結論24で決着した。最近の新聞報道によると、県下の定数にも問題が出ている。東温市においても、定数については、特別委員会や審議したが、結論は、12月の本会議中に、全員協議会にはかつて議論した。結果、定数6削減とし、平成20年3月条例改正を議会に

リレー議員紹介

別委員会で審議したが、結論は、12月の本会議中に、全員協議会にはかつて議論した。結果、定数6削減とし、平成20年3月条例改正を議会に



柳原堀貫水門改修

提出し、可決すれば、次回の選挙から適用する。市民の負託にこたえ、残り少ない期間、地域のために役立ちたいと決意した。安心して暮らせるまちづくりのために、努力します。

改良区、神社総代、各団体から役員を選出し「ゴミの問題や、行事の内容について意見を出し地域の活性化に役立っている。」区会だより「神社だより」を発行し住民皆さんに周知している。田窪区は代議制を取り、組長会が年4回あり、大西佳子議員と私が出席して、議会報告をしている。市民の要望を取り入れて明るい区民のために頑張っている。



荒廃進む山間部の農地





輪島市役所ロビー

委員会報告



改修中の川内公民館

文教委員会

◎当文教委員会に付託された「議案第38号平成19年度 東温市一般会計補正予算(第3号)」は全員賛成で可決。

問・印刷製本費207万9千円の内訳は

答・各小学校3、4年生で社会科の副読本を活用しているが在庫がなくなり作成する。

問・これ等外に副読本を作成しているのか今後の見通しは

答・社会科以外には、副読本は作成しない。

ていない。今後現場の教師と相談して、検討していく。

問・工事請負費並びに備品購入費について

答・拝志小学校に特別支援学級を新設するための電気及び放送等の改修を行い、それにもなう備品を購入する。

問・公民館管理費3,440万円の財源振り替えについて

答・追加要望をおこなっていた合併市町周辺地域振興補助金の承認に伴う1,000万円に充当率が95%の合併特別債と当初予算計上していた防災対策事業債との差額2,440万円を合わせた額3,440万円を一般財源と振り替えるもの。

問・学校給食センターが使用する燃料および光熱費について

答・市場では、燃料が高騰しているが、当初契約をしているので来年の3月までは影響は無い。光熱費については、今年の4月に操業開始で、今までの実績がなく、全国平均の資料をもとに予算計上を行ったがそのままでは、不足を生じるので光熱費の補正を行った。

問・給食に伴う質疑

答・給食日数については、年間196日、給食実数は、幼稚園465人、小学校1,934人、中学校1,013人、給食費は、幼稚園130円、小学校215円、中学校250円

総務委員会

◎一般会計補正予算総務委員会に付託された案件は全員賛成で原案可決

問・カーブミラー設置について

答・カーブミラー設置の予算が少なくなったので100万円の補正をしたものである。各地区での本数規定は無く、要請があれば対応していく。

と2人増とするもの。全員賛成で原案可決

◎東温市職員の給与に関する条例の一部改正について

職員給与の参考とするため県人事委員会が行う無作為抽出の事業所は、守秘義務で、公表できないとのこと。全員賛成で原案可決

◎中予広域水道事業団の解散について

中予広域水道事業団の解散に伴う財産処分について

両議案とも全員賛成で原案可決

◎地元業者に仕事を増やす施策を求める意見書

業者による地域貢献度を評価ポイントに加点等「条件付一般競争入札制度」を市当局が導入するので、当面必要ないという意見が多数を占める。賛成少数で否決

◎放送法等の一部を改正する法律案の慎重審議を求める意見書

放送倫理番組向上機構(BPO)も機能し、努力しているので危惧する事はないという考えが多数を占める。賛成少数で否決

◎視察研修報告

南海地震を想定し、10月29日、30日輪島市へ防災・危機管理等の目的で研修を行った。大地震では住民全員が被害者であり、住民全員が救助隊員であるので、訓練の重要性を教えられた研修であった。

厚生委員会

◎一般会計補正予算のうち厚生委員会付託案件について審査した結果、原案可決。主な質疑は次のとおり。

問・視覚障害者用活字文書読上げ装置はどのような人が使い、どのようなものか。

答・視覚障害の人が利用する。市内の障害者手帳1級、2級の人、約70人の人を想定している。装置はバーコードに入力されている情報を音声化するものである。公共施設の窓口に設置予定である。

問・児童館建設費に関連して、学童保育はしないのか。

答・川内地区では1箇所なので学童保育はしない。

問・妊婦一般健康診査委託料の内容は。

答・妊婦の一般健康診査の回数を2回から5回に増やす追加経費で、対象者約125人で、件数として370件、金額で96万8千円の委託料を予定している。

◎国民健康保険特別会計補正予算は原案可決

◎老人保健特別会計補正予算は原案可決

◎介護保険特別会計補正予算は原案可決

◎国民健康保険税条例の一部改正については原案可決。主な質疑は次のとおり。

問・国民健康保険税が特別徴収となつた場合、介護保険料と合わせて最低額

が、月当たり6,200円となり、本人の意思とは関係なく強制的に徴収されるのか。

答・法改正に伴う改正であるが、被保険者の利便性を確保し、また、市の保険料納付を確保することにより、徴収事務の効率化を図るため原則年金からの天引きを行うこととなっている。

問・国保税と介護保険料の合算額が年金額の2分の1を超えた場合は特別徴収をしないこととなるのか。

答・既に介護保険料については、特別徴収が実施されていることから、その仕組みを最大限尊重することとされ、介護保険料を優先する取り扱いとなる。2分の1を超えた場合には、介護保険料は従来どおり特別徴収し、国保は普通徴収となる。

◎乳幼児医療費助成条例の一部改正は原案可決。主な質疑は次のとおり。

問・20年度はどのくらい医療費があるのか。

答・3歳から就学前までの通院医療費として、790万円の増を見込んでいく。



長安の新年演芸会

産業建設委員会

当委員会に付託された補正予算議案4件と議案審査2件の審査結果と主な質疑

補正予算議案

◎一般会計補正予算

問・土木費・住宅建設費の下沖団地建替え工事は、なぜガスではなく、オール電化なのか。安全性はどうか。

答・電磁波の安全性については、WHO等のデータで、安全・安心を確認し、ランニングコスト等を含めて総合的に判断した。今回は試行であり、今後電化がガスかはその都度検討していく。

賛成多数で原案可決

◎ふるさと交流館特別会計補正予算

全員賛成で原案可決

◎公共下水道特別会計補正予算

全員賛成で原案可決

◎水道事業会計補正予算

全員賛成で原案可決

◎市営住宅管理条例の一部改正

議案審査

問・東温市では暴力団員による事件、事故はなく、県下・全国でも8割以上は一般市民が起しており、条例改正の

根拠に欠ける上に、憲法第11条、13条、14条等に違反しているのではないかと。

答・市として市民・入居者の安全・安心と平穏な生活を守る責任があり、そのため条例改正が必要で、憲法違反とは考えていない。また、仮に暴力団員が市営住宅に入ってきた場合、現行法では対応できず、入居申し込みの拒否もできない。

賛成多数で原案可決

◎公共下水道川内浄化センターの建設工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結

全員賛成で原案可決



東温市営下沖団地完成予想図



熱気の討論！ 真剣勝負！

反対討論

日本共産党 佐伯 強

◆意見書案第5号「国立大学法人への運営費交付金に競争原理を導入しないことを求める意見書」を、否決することに反対する。

「教育は人なり」人として立派に育ててゆくこととは思いやりのある心配りと同時にお金も必要。

このたびの国のやり方では、経済格差が教育格差に直結し、経済的な理由で才能があっても勉強できない。また、これが実施されると愛媛大学運営は不可能になると言われている。愛大附属病院のある地元の議員としても当然のこととして、国に対して受け入れ難い旨伝えるべきである。

(交付金が試算通り削減されると一挙に70億円近い収入減となり大学運営は不可能になる。大学がもたらす地域への経済効果も非常に大きい)

賛成討論

大西 佳子

◆意見書案第5号「国立大学法人への運営費交付金に競争原理を導入しないことを求める意見書」を、否決に賛成する。

委員会の審査は、各委員それぞれに事前に調査を行い、十分な審査時間を使って審査をおこなっており、議会の付託に充分応えるものである。

本意見書で問題としていた全国にわたる大学の運営費交付金については、全国の大学に同じように交付金を交付するのではなく、世界水準の研究レベルを持つ大学を重点的に育成するという観点から、提案されたものである。

国の教育予算関係の伸びを見れば、財政難で教育を切り捨てるなどというのでは全くなく、国家の先導的な研究開発等を行う大学には、選択と集中でよい大学をめざす案の一つと考えられる。

反対討論

日本共産党 佐藤 壽兼

◆意見書案第7号「地元業者に仕事を増やす施策を」の否決に反対。

入札制度を改正したから意見書を出す意味がないと今になって言うとは語るに落ちる。議会も地元業者の率直な意見や要望を聞く場なども作るべきだ。

◆意見書案第13号沖縄の集団自決に関する「教科書検定」の否決に反対。

検定意見の根拠にされた関東学院大学の林博士教授は、「軍の関与を否定した」検定意見は、常識的な日本語の読解力もないか、極めて悪意を持って歪曲したものか、どちらか以外に考えられない。「沖縄研究の成果を無視した暴論」と批判。多くの住民や朝鮮人軍夫を虐殺し、住民には捕虜になることを禁じておきながら、山の中を逃げ回って生残り、後には捕虜になった日本軍の幹部の責任を歴史から抹殺することは許されない。

賛成討論

森貞 章吾

◆意見書案第7号「地元業者に仕事を増やす施策を求める意見書」の総務委員会採決に賛成する。

最近の日本経済の冷え込みは東温市においても同様であり、国、県、そして全国の自治体が、公共工事等の削減を余儀なくされている。そういった中、地元の仕事は地元業者にといいことは万人等しく願うものである。しかしながら総務省の通達では「すべての地方公共団体は一般競争入札を導入すること」と明記されている。そういった状況での今回の東温市の入札制度改善は、登記簿による本社、支店の確認、地域貢献度の加味等、地元業者育成の観点からも評価できるものと判断し、私の賛成討論とする。

反対討論

白戸 寧

◆意見書案第11号「放送法の一部を改正する法律(案)」の慎重審議を求める」を否決とした委員長報告に反対する。

政府に都合の悪い放送に對し行政処分のできる機関の新設は不要、放送の自由を守れ。

◆意見書案第12号「身近な地域で、安心してお産が出来る助産所の存続を求める意見書」委員長報告は否決であるが、少なくとも賛否同数の場合は厚生委員長(安井浩二)として可決するのが当然と思う。

然るに私は反対。

◆意見書案第13号「教科書検定に関する意見書」委員長報告は否決であるが、私は委員長報告に反対する。

賛成討論

竹村 俊一

◆意見書案第11号総務委員会報告に賛成。

放送法等の一部を改正する法律案は、通信・放送分野の改革を推進するためのもので、法律案新旧対照条文を検証すると、第1章及び第1章の2は現行どおり改正されておらず、表現の自由、国家権力による介入の排除と、放送の自主・自律が堅持されている。

また、法案の第53条の8の2については、その文言から政府や行政権力が安易に介入していないと解釈できる。

さらに、放送番組・番組向上機構(BPO)が自主的な再発防止策に取り組んでいる間は施行を凍結する方針であることから、本意見書については、総務委員会において否決と決定したことは問題なくである。

反対討論

渡部 伸二

◆「教科書検定に関する意見書」(意見書案第13号)を否決した、文教委員会会の決定に反対する。

先の沖縄戦での住民の集団自決において、日本軍による強制はなかったとして、文部科学省は、日本軍の関与に触れた教科書の記述を削除・修正させた。

本意見書案は、文科省に對し、この教科書検定の撤回を求めるものである。

所管の文教委員会では、桂浦善吾・大西佳子・伊藤隆志議員ら3人が、本意見書案に反対した。

問われるべきは、私たちの、沖縄戦や教科書検定についての圧倒的な無関心と、沖縄の人々の戦争体験が投げかけている意味を、自分の問題としてとらえることができない硬直した感性、その愚鈍である。

教科書のほんの一言かもしれないが、その中には失われたおびただしい人命と沖縄県民の万感が宿る。

賛成討論

野中 明

◆意見書案第12号身近な地域で安心して出産ができる助産所の存続を求める意見書を厚生委員会に否決とした決定に賛成する。

改正医療法第19条は出産時の母子の安全を確保するため定められたもので、助産所で出産できるのは、元来合併症がなく、妊娠中の経過に大きな異常がない場合に限りである。

意見書では、8割が正常分娩としているが、母子の安全を考えると納得のいく確率ではない。

私自身、家族や知人に相談されれば、緊急時にすぐ対応可能な病院での出産を薦める。自分で推薦できない、しかも東温市にない施設のことを意見書とする必要はないと判断する。

賛成討論

伊藤 隆志

◆「教科書検定に関する意見書」

前の忌まわしい大戦から60余年の歳月が経過し、今でもタブーとされた史実に對する、調査、研究も進み、当該住民からの直接の証言も出てきた今、感情や、偏った思想からくる「旧日本軍の命令で、渡嘉敷島と座間味島の住民が集団自決した」とする事例を、教育の現場から削除することは当然であり、教科書審議会の判断は正しかったと思ふし、むしろ、昨今の世情に負けて、誤った政治判断こそ、教科書審議会の抜本的危機と言わざるを得ない。

そもそも、教科書たるもの、あやふやな史実を記載すること自体、慎むべきであり、戦争の悲惨な愚かさを教える教材は他にいくらでもあるはず、いすれにしても、この種の議論は教育現場には、到底馴染まないものである。

反対討論

渡部 伸二

◆「東温市営住宅管理条例改正案」に反対する。

この条例改正は、市営住宅の入居に際して、いわゆるヤクザ(任侠集団)関係者を洗い出し、これを排除するためのものである。

しかしながら、特定の結社に属するというだけで、市民的権利を奪われることがあってはならない。日本国憲法は、すべての国民の、法の下での平等・個人としての尊厳の尊重・人格的価値における平等を保障している。一般的にはヤクザと聞けば市民から支持を受け難い。だが、そうした市民感情に乗じて、自治体行政が、一部住民に對する差別と排除を行うことは許されない。

◆「東温市職員の給与に関する条例改正案」に反対する。

倒産のリスクや厳しい競争にさらされている「民間労働者」と「公務員」を同列に比較はできない。よって今回の昇給には反対する。

賛成討論

竹村 俊一

◆議案第49号産業建設委員会報告に賛成。

公営住宅法は、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備することを目的とし、地方公共団体は、良質な賃貸住宅の供給を促進せねばならず、管理条例等において入居者資格を規定している。

入居申込者が暴力団活動に従事している暴力団員である場合は、各地方公共団体において適切な対応を図らねばならない。

暴力団員の排除に関する条例改正は、一般居住者の安全と平穏を保障するためには、規制の正当性及びその手段の合理性を有しており、憲法違反ではない。

この条例制定により、一般居住者の安全と平穏な生活が保障され、居住環境の良好な住宅供給促進が図られることを願っている。

反対討論

日本共産党 佐伯 強

◆意見書案第16号後期高齢者医療制度の見直し、または中止。撤回を求める意見書の継続審査に反対する。

世界に例をみない年寄り、いじめの医療制度の実施は、あと3ヶ月ほど。継続“などと悠長なことを言っておられない。

厚生労働省での審議の遅れや政局の不安定で制度に伴うシステム整備もろくに出来ていないままの押しつけで、国民にまだまだ理解されていない。日本医師会、健保組合も反対。長野、高知、和歌山は各県で、東京、千葉、埼玉、神奈川の一都三県は連名で見直しを緊急要請している。全国でも300近い自治体で要望。

75歳以上のすべての高齢者からお金(保険料)をとり上げるシステムだけは何十年先までもキチンと決めている。治療内容は不十分なのに。

賛成討論

日本共産党 佐藤 壽兼

◆議案第49号「東温市営住宅管理条例」に賛成。

「憲法は暴力団員の人權も保障。暴力団員を差別するのは憲法違反」等の反対意見に同意できない。一般市民を巻き添えにする凶悪犯罪が多発。ヤミ金融などを暴力団が資金源にも。一般市民の人權や平穏な生活を確保・保障することこそ憲法が求めているもの。暴力団員を市営住宅から排除するのは当然。なお、党として暴力団員かどうか警察に照会の際には個人のプライバシーに十分注意するよう市長に申入れた。

◆意見書案第15号「生活保護基準の安易な引下げに反対」の可決に賛成。

左記の施策にも連動するので、貧困と格差がさらに拡大する。①介護保険の保険料・利用料②障害者自立支援法の利用料③地方税の非課税基準④地方税の減免⑤公立高校の授業料減免⑥国民健康保険料の減免⑦公営住宅の家賃減免⑧生活福祉資金貸付金⑨就学援助など。

賛成討論

渡部 伸二

◆「生活保護基準の安易な引き下げに反対し、慎重な検討を求める意見書案」を△可決した厚生委員会審査結果に賛成する。

厚生労働省は生活扶助を一律に切り下げることをやめ、級地別の基準額を変える方向で検討していること報道されている。すなわち、都市部の生活扶助支給額を引き上げ、逆に地方部を引き上げると厚生労働省は説明しているが、これでは所得格差の大きい都市部の最も貧しい階層の人々を直撃することになる。

級地を見直すのならば、生活実態を反映していない、「級地」(全国を3級地6区分に分け、基準額に格差を設けている)という乱暴な区分そのものをむしる撤廃すべきである。

人間が人間らしく生きる権利の保障を実現させるために、生活保護制度の本質をないがしろにしてはならない。

議会運営委員会

議会改革の一環として検討中である①一般質問の「一問一答方式」と②「常任委員会機能の充実」、また、③地域活性化の起爆剤と考える大型商業施設の誘致実態について研究のため岐阜県本巣市と可児市で研修を実施した。

一問一答方式は、議会の質疑を傍聴者により解りやすくする方式で、国会中継で馴染みがある。常任委員会の機能充実、議会閉会中に常任委員会が主体的に調査活動を行うためのもので、どちらも当面の課題である。



東温市企業誘致・地域活性化等調査特別委員会を設置

新たな行政需要に対応するとともに、住民の福祉向上を図るため、企業誘致、地域の活性化、雇用の確保をはじめ、行財政を推進し自主財源の確保などについて調査研究するため、平成19年12月18日、委員10人で特別委員会を設置しました。

委員長	桂浦 善吾
副委員長	安井 浩二
委員	松下 通
	片山 益男
	野中 明
	山内 孝二
	藤田 恒心
	大西 勉
	佐藤 壽兼
	丸山 稔

市議会を傍聴しませんか

●市議会を傍聴しませんか
●市議会を傍聴しませんか
●市議会を傍聴しませんか

3月議会の日程(予定)

日曜日	項目	内容
4	火	本会議 委員長報告
7	金	本会議 質疑
10	月	本会議 一般質問
11	火	本会議 一般質問
12	水	委員会 各委員会
13	木	委員会 各委員会
18	火	本会議 委員長報告・表決

投稿募集

「市民の声」コーナーに投稿を募集しています。(推薦したい方もご紹介ください。)

人シリーズ 2

陽だまりの集い

窪田比良喜(見奈良)

陽だまりの集いについて語る前に「鍵の友の会」について一言述べさせて頂きます。平成6年、愛大、堀口淳先生主宰による養護老人対象の介護者支援ボランティアの会長長渡部豊氏による、「鍵の友の会」が発足致しました。平成7年、私も入会致しました。

病夫の介護の私に何が出来るのかを求めていた私は老人の陽だまりの部屋を使用、老人集いの場としたらいいのではないかと堀口先生、渡部豊会長、佐伯正夫町議(当時)それぞれに相談、皆様の賛同を得て、温泉、絵手紙、談笑の場として活動開始となりました。

ここに会発足10年を区切りに閉会となりました。その後、見奈良老人会長長紅坂氏より見奈良老人会活動の一つとして続けて欲しいとの要請に、ありがとうございます。当初より共に活動の猪原宣子、小川アサ子、谷口比佐子会員、また、元気旺盛の最高齢者池川千栄会員始め、参加者10人余りの現在です。陽だまりの参加希望者は別に規則はございません。参加者一同甘えることなく傲慢にならずお互いの支え合い、すべて氏神様のみこころありがたい、あり



陽だまりの家で助け合う元気な皆さん

がたいと明るく信頼の場を培って行きたい。そのような老人の集いでございます。また、皆さん手作りの人形、袋、お手玉等陽だまり作品のバザーも盆踊りの夜、行って参りました。このような活動を堀口、小野両先生に近況報告も致しており、先生方も見奈良陽だまりを忘れないで下さいます。陽だまり鍵の友の会の報告とさせて頂きました。

市民の声

ソーマン流し



そうめん流しの会 菅野 幸子さん

始めて15年になるソーマン流し。昨年、施設をまた今年

は、水洗トイレと、立派な物ができ上がりまして。細々とやってきた青空市の手を離れ「上林ソーマン流し」と改名され、大勢のお客様ににぎわうようになりました。夏休みになりました。みになったから毎日営業してはみましたが、予約をいただくようになり、盛況でした。

土日はどうしても多くの人たちで混雑しますが、ゆっくりしていただくは平日の方が良かったように感じました。



おはなしウーフ 水田 奈美さん

これからも皆様のお声を聞きながら、よりよいソーマン流しを続けて行きたいと思えます。どうかよろしくお願いたします。

絵本を読んでみませんか?

大きな紙芝居の舞台やたくさんのお話を抱えて歩く私は、子供たちから「おはなしウーフさん」と呼ばれています。おはなしボランティアを始め、4年、とても嬉しいひとときです。



ちりつも共和国 西田 芳子さん

「えひめAI・2」で「エコ」しませんか?

私は「えひめ女性海外派遣」でハイデルルク市ゴミ処理問題のレクチャーを受けました。ドイツでは市民が率先躬行しており、考え方の違いを痛感しました。帰国後「生」の堆肥化」を学習して参りました。愛媛県工業センターで開発された「えひめAI・2」は簡単に作れ腐敗臭がありません。普通寺市ではAI・2をエコ大使とし、自治体で普及しています。

2月5日、坊っちゃん劇場で四国からSTOPI温暖化をエコ・キッズ・フェスティバルと同時開催します。「えひめAI・2」を使って、家庭菜園や花壇の堆肥にしている体験も発表しています。皆様のご参加をお待ちしています。



12月21日（金）

株式会社キシモト代表取締役社長の岸本幸雄氏を佐伯正夫議長・大西勉副議長と山内孝二議員が訪問しお話を聞きました。

◆会社創業等の経緯をお聞かせ下さい。

岸本 昭和36年大阪の大学を卒業後、大手乾物問屋に就職し、商売の基本を学び、5年後28歳で故郷の松山に帰り結婚し乾物業を始めました。

その後約10年間乾物の商売を行って参りましたが、時代の流れに乗るために、海産物のメーカーに変更しアジの開きの加

工を始め、当時は魚の水揚げ量も多く、多量・多品種の魚を加工することができました。

◆どのようなことで、東温市に拠点を移されたのですか。

岸本 高速道路の地の利が良く、豊富で良質な水が確保でき、そして土地が比較的安く工場として広く購入できたため松山市から移ってきました。

◆貴社の事業コンセプトと展開をお聞かせ下さい。

岸本 海産物は日本の伝統ある食文化であり、魚の干物を「中骨のない」商品にすることでより需要も高まると考えその技術を開発致しました。

その結果、中四国、関西方面まで出荷を拡大しております。

昨年の2月にはテレビ東京で国内に珍しい中骨取りのアジ開きが全国に紹介され、また6月にはNHKのクイズ番組「クイズモンスター」でも珍しいということ放映されました。この結果全国各地より問い合わせがあり、出荷エリアが拡大し、出荷量が増えました。

◆今後の取組みと抱負をお聞かせ下さい。

岸本 地産地消を重点的に、また各地の魚市場とも連絡を取り、広く製造・販売に取り組み、東温市の地場産業として、中部、関東、そして全国に発信したいと考えております。

海に面していない当市における海産物のブランド品とは意外性がありますが、中骨のない干物の発想と技術力によるものだと思います。

◆静かに語る岸本社長からは、築き上げてきた自信と挑戦する熱い想いが伝わってきました。東温ブランドとして全国に発信できる商品であると確信し、ご支援をする意を強くしました。

【会社概要】

株式会社キシモト

- 創業 昭和41年7月
- 資本金 2,300万円
- 従業員数 25人
- 事業所 本社・東温市則之内甲6993
- 電話 089-966-6060

視察・研修

■千葉県富里市議会議員視察研修

1月22日、富里市議員3人が、子育て相互援助支援の「ファミリーサポート制度」と、独居高齢者のための「こんにちはコール制度」を研修に来庁されました。



富里市議会視察研修

■西岡・志津川地区開発プロジェクト地権者代表陳情

10月31日、開発計画の実現嘆願にみえました。

■上林区代表陳情

10月24日、林道拡幅と保育所存続の陳情にみえました。

■日中交流アカシアの会

子供たちの中国通化市親善訪問の協力依頼に会役員がみえました。

●編集後記

年末恒例の漢字が、清水寺で「偽」と披露された。今の世相を的確に表している言葉である。「喜」「幸」になる時代が、早く来ることを願わずにはいられない。「偽と雪」雪は一夜にして、まわりを白く染めてしまう。この世の中の「偽」も白く染めてしまふ。その雪の下に現代があるのでは……。足元の雪はすぐ消える。そんなもろさを感じるのは私人だろうか。

本議会において、「偽」があつてはならない。それを心掛けて進めていきたい。

(永井 雅敏)

表紙撮影／横河原 和田 清徳

発行責任者	佐伯 正夫
編集委員	大西 佳子
委員長	永井 雅敏
副委員長	安井 浩二
委員	近藤 枝美
	片山 益男
	桂浦 善吾
	山内 孝二
	三棟 義博
	大西 勉
	竹村 俊一
	渡部 伸二
顧問	佐伯 強

辻井循環器科内科

地域に根ざした医療を目指して、在宅医療に取り組んでいます。
 ~各種介護サービスあり（居宅介護支援、訪問介護、通所介護、グループホーム）
 ~介護保険申請、ケアプラン作成の代行も行っております。



グループホームつじい
通所介護はあと

〒791-0212 東温市田窪 2030
TEL964-0013



グループホームつじい



通所介護はあと



辻井循環器科内科